



ともしび

— TO MO SI BI — 第352号

2025(令和7)年8月号

「熱中症にご注意を」

いよいよ夏本番の今日この頃、皆さんいかがお過ごしですか。

さて、梅雨が明けると同時に、毎日厳しい暑さが続いております。先日は、福島県や群馬県で四十度を超える気温が観測されましたね。

暑さが厳しくなってくるこの季節、毎年のように言われるのが「熱中症にご注意ください」など、適切な水分補給やエアコン使用を呼びかける声。毎年のように言われていますが、それと同じくらい、熱中症で多くの方が救急搬送されているというニュース。「自分は気をつけているから大丈夫」と油断せず暑さ対策しましょう。ちなみに、油断はもともと仏教にルーツがある知ってました？詳しくは、次のコーナーで！

意外と知らない仏教語

油断(ゆだん)

油断大敵、油断は怪我の元、など「ことわざ」にも使われているへ油断という言葉。

へ油断の起源は多くの仏典に垣間見られます。

例として、『涅槃経(ねはんぎょう)』には、次のような説話があります。

ある王様が臣下に油の入った一つの鉢を持たせ、行動する時にもし油を一滴でもこぼせば、お前の命を断つであろうと告げ、抜刀した家来をその臣下の後につけさせました。

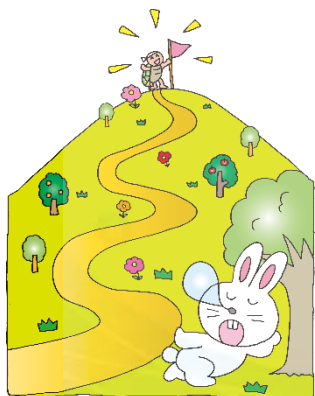
鉢を持った臣下は注意深くその鉢を持ってゆき、ついに一滴も油をこぼすことがなかったといいます。

このように注意深くあること

で、油を断つことがなかった、という事からへ油断という言葉が生まれました。また初期仏典には、神仏に捧げる灯火を絶やさぬよう、油を断たないように大切に、するという教えも多く存在し、そこからへ油断という言葉が生まれたという説もあります。

いずれにしても、古代インドではへ油断というものが大変貴重な物であり、不注意で油を損失してしまわないように、戒めの言葉としてへ油断が生まれました。

皆さんも油断せずに日々を送ってくださいね。



7月の東久留米分院の様子

常例法座 お経の勉強会

ご講師：稲木 義成 師（栃木県 観専寺）
勉強会：伊藤主管

7月13日（日）午後1時～

当日は、暑さの厳しいなか13名の方が参加くださいました。皆さん、暑さに負けず本当に熱心に聴聞してくださいました。
また、お経の勉強会は、初めて唱えるお勤めだったという方も多いなか、大きな声で唱えていただきました！



稲木先生には栃木県からお越しいただきました



毎回白熱のお供物ジャンケン！



7月がお誕生日の方と（私[伊藤]も7月）

その他のお知らせ

東久留米分院からのお知らせ

【盂蘭盆会・総永代経法要について】

暑い日が続いておりますが、皆さまお変わりありませんか？
さて、例年この時期に開催しております盂蘭盆会・総永代経法要につきまして
今年は、8月11日（月祝）午後1時から開催いたします。
当日の法要に参拝されます方は、過去帳を持参くだされば、本堂の仏さまの前に
置いてお勤めいたします。皆様のご参拝をお待ちしております！

記

日時	8月11日（月祝） 午後1時から
場所	東久留米分院 本堂にて
内容	盂蘭盆会・総永代経法要・法話

○盂蘭盆会の由来

盂蘭盆会（うらぼんえ）は、古代インドの「ウランバナ」という言葉に由来し、「逆さづりの苦しみ」を意味します。これは、お釈迦様の弟子である目連尊者が餓鬼道に堕ちた母を救おうとした故事に基づきます。

ただし、浄土真宗では、餓鬼道に落ちた目連尊者の母は私たちの代表と見ていきます。餓鬼道とは、常に激しい飢えと渇きに苦しむ世界ですが、生前の強い貪欲や物惜しみの心が原因で堕ちる世界と言われています。そう考えたとき、私たちは、日々、餓鬼道に落ちる因を作り続けているのではないのでしょうか。そんな私たちですが、阿弥陀如来の力で救われていくという教えに出遇わせていただいたご縁を深く味わい・喜ぶ法要として営まれるのが浄土真宗の盂蘭盆会で、「歓喜会（かんぎえ）」とも呼ばれます。

盂蘭盆会・総永代経法要は、どなたでも参拝いただけます。皆様のご参拝をお待ちしております。過去帳を持参くだされば、本堂の仏さまの前に置いてお勤めいたします。

▶ 8月の行事予定

奉仕活動

8月3日(日) 午前8時頃～

毎月第一日曜日の晨朝勤行(朝のおつとめ)の後、有縁者の皆様で奉仕活動を行っています。皆さまのご参加お待ちしております。

盂蘭盆会・総永代経法要 ご講師: 白川 憲仁 師(東京都 正法寺)

8月11日(月祝) 午後1時～

お盆や仏さまのお話を、やさしく・わかりやすくお話くださいます。是非お越しください。

▶ 9月の行事予定

秋季彼岸会

ご講師: 澤田 唯 師(茨城県 安楽寺)

9月23日(火祝) 午後1時～

過去帳をご持参くだされば、阿弥陀様の前に置いてお勤めします。是非ご参加ください。

先月のご進納

【お仏飯米】

神谷 正弘 様
高橋 操 様
山下 肇 様

(順不同)

誠にありがとうございました。

編集後記

いつも「ともしび」をお読みいただきありがとうございます。

夏真っ盛りの八月、この季節に毎年恒例のように行われている高校野球・盆踊り・夏祭りなどなど。今年は、いくつ行われるでしょうね。熱中症の心配や担い手不足などで中止になった行事もあるとお聞きしています。当たり前と思っていた行事が当たり前ではなかったのだと改めて感じた出来事です。多くの当たり前は、実は有難いだったんですね。

東久留米会館会報「ともしび」

通 刊 352号

発行日 2025年8月1日

発行者 伊藤 法友

住 所 東京都東久留米市柳窪5-8-30
電 話 042-474-6787